

【教育目標】

- ① 真理を愛し、知性を磨き、自律的で創造性ある人間を育成する。
- ② 生徒の能力と個性の伸長をはかり、健全な心身を育成する。
- ③ 自己の言動に責任を持ち、他を思いやり協調できる情操豊かな人間を育成する。
- ④ 広い視野に立って郷土を愛し、国際性豊かな人間を育成する。

【自校の現状・課題】

- 国立大学進学を志望するとともに部活動にも熱心に取り組む前向きな生徒が多く、それぞれに切磋琢磨できる環境が伝統的につくられている。
- 習熟度別の授業編成や少人数クラスの編成を実施することで学力層別、志望進路別に合わせた学習効率の高い体制が整いつつある。
- 学年団主導の学習指導や進路指導により、生徒の変化や特性に応じて即時的に対応してきたが、指導法の他学年への伝達・継承や学年間・教科間の連絡調整という面では不十分な点がある。
- 地元国立大学に多くの合格者を輩出し、地域から高く評価されている。一方で世界水準の研究拠点大学に進学し、グローバルな活躍を目指すような生徒の育成強化が今後の課題である。

【地域等からの要望】

- 思考力や判断力、課題解決に取り組む姿勢を育み、地域の活性化に貢献できる人材を育成すること。
- グローバルな視点を持ち、自らを高め、社会で活躍できる人材の育成を視野に、国公立大学への進学を希望する生徒・保護者の期待に応えていくこと。
- 学業と部活動の両立を通して、心身ともにたくましく、困難に立ち向かっていく生徒を育成すること。

【本校において目指す生徒像】（育む資質・能力、身に付けたい力など含む）

- ① 課題を発見し、解決するなど、様々な問題に対応する力を身に付けた生徒。
- ② 多様な考え方や価値観を許容し、自身の成長の糧とする主体的、協働的な態度を身に付けた心身ともにタフで自立した生徒。
- ③ 国際的な視野を持ち、自身の生涯の目標（夢）実現のために、難関大学や国立大学等を目指してひたむきに努力する生徒。

【学習指導方針（スクールポリシー）】

- (1) 主体的・協働的な学習の積極的な導入とその深化・改善を図る。

各教科では単元に1回以上、生徒が根拠を明確にして自分の考えを説明したり、議論したりすることによって思考力・判断力・表現力を育成し、主体的・対話的で深い学びの実現を目指す授業を展開する。また、教科会等で授業の手法や教材の共有化を図る。

- (2) ICT 機器を積極的に活用し、動画の利用や情報伝達の効率化を図る。

生徒の理解を深めると同時に、授業の効率化によって生じた時間で発展的な課題に主体的に取り組ませる。

- (3) 多様な学習機会を計画し、コミュニケーション能力の育成と自尊感情の高まりを図る。

必要に応じて地域や保護者との連携をとりながら、生徒が考えを広げ、深める学習の場を設定する。また、グループでの活動を重視し、生徒個々の自尊感情が高まるような協働的な学習を積極的に取り入れる。

- (4) 国際社会・地域社会を牽引する人材に必要な学びの力を養成する。

社会に貢献する人材として欠くことのできない論理的思考力、表現力、言語運用能力等の養成が、日々の学習活動の中に体系的に組み込まれているかを常に分析・評価する。あわせて今後の高大接続改革に対処するため、3年間で生徒につけたい力を明確にし、それを踏まえた教科指導を継続して行う。